

平成 27 年 寒川町議会要覧



議会運営の効率化に向けタブレット端末を導入
(平成 27 年 2 月～)



神奈川県高座郡寒川町議会

寒川町民憲章

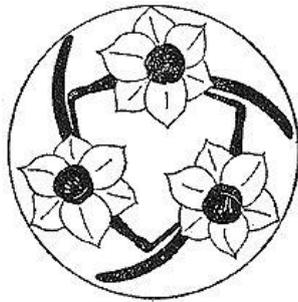
昭和55年11月1日制定

寒川は、相模川のほとり、水とみどりに恵まれた自然と、歴史と伝統にはぐくまれた文化のあるまちです。

わたくしたちは、このまちを愛し、限りない発展をねがって、ここに町民憲章を定めます。

1. 水とみどりを大切にし、住みよいまちをつくりましょう。
1. ゆずりあい、力をあわせ、助けあいましょう。
1. きまりを守り、だれにも迷惑をかけないようにしましょう。
1. 元気で働き、幸せな家庭をつくりましょう。
1. 学びあい、明るい豊かな心を育てましょう。

○ 町の花 「すいせん」



○ 町の木 「もくせい」



○ 町の鳥 「ダイサギ」



沿 革

■位置と地勢

本町は、神奈川県の中東部を流れる相模川の河口から上流約6kmの左岸に位置し、湘南の一角を占めています。町域面積は13.42km²で東西2.9km、南北5.5kmと南北に長く、首都圏50km・横浜30km圏にあり、東は藤沢市及び小出川を隔てて茅ヶ崎市に、西は相模川を隔てて平塚市と厚木市に、南は茅ヶ崎市に、北は海老名市にそれぞれ接しています。

標高は約5～27mで、おおむね平坦な地形で東部は相模野台地の南西部に位置し、そのほかは相模川、目久尻川、小出川によって形成された沖積低地となっています。

気温は温暖であり、首都圏の分散化にともなう産業や居住地として発展してきています。

■あゆみ

明治22年に当時の11ヶ村が合併して寒川村となり、昭和15年11月に町制を施行して寒川町となり、その後昭和30年7月に相模川沿岸の中郡大野町の一部を編入しました。

昭和30年代半ばからの高度成長期に伴い、町内にも相模川沿岸を中心に工場が相次いで進出し、併せて宅地開発が急速に進行したことから人口が急増しはじめ、昭和48年6月には27,200人を超え、神奈川県内で最も人口の多い町となり、その後も増加傾向をたどり、平成17年には48,000人を超え、それ以降は概ね横ばいに推移しています。

このような都市化の進展により、専業農家は大幅に減少しましたが、農業技術の向上により都市型農業が盛んになり、施設園芸や花き栽培などが行われるとともに、地産地消が進められています。

町内を南北方向に走るJR相模線は、大正10年に茅ヶ崎・寒川間で開通され、大正15年には寒川・倉見間が開通し、昭和6年に宮山駅が開業されました。平成3年3月に電化されてスピードアップし、運行本数も増えたことで、町民の足としてより便利になりました。

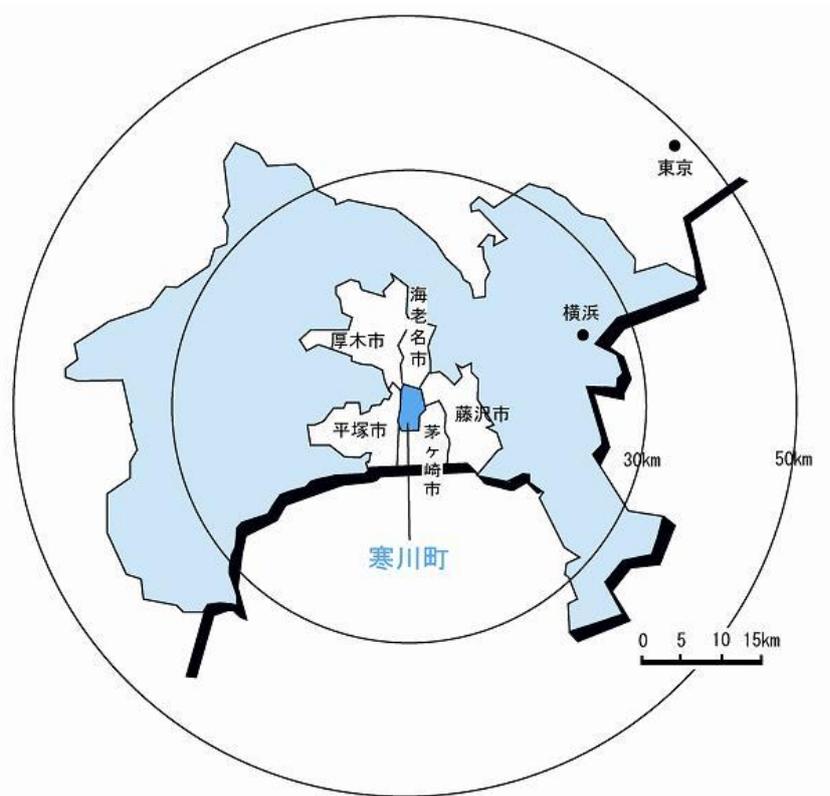
また、平成3年には県道相模原茅ヶ崎線の寒川地下道の開通、平成10年には湘南銀河大橋が開通するなど道路網も着々と整備されています。

さらに、平成10年に行われた神奈川県国体に合わせ、寒川総合体育館とさむかわ中央公園が完成し、町民の憩いの場となっており、平成18年には、寒川総合図書館・寒川文書館が開館し、多くの方々に利用されています。

本町の玄関口となる寒川駅北口地区土地区画整理事業については、平成4年6月に事業決定を行い、現在も完成に向け着々と整備されています。

平成8年に神奈川県が中心となって東海道新幹線の新駅誘致の一本化に向けて期成同盟会が設立され、本町も期成同盟会の一員として新駅設置の要望を行ってまいりました。この期成同盟会で平成9年11月に東海道新幹線新駅誘致地区が本町の倉見地区に決定いたしました。

また、首都圏中央連絡自動車道（さがみ縦貫道路）は、東京都心に集中している自動車交通を分散し、都心の交通混雑を解消することを目的に計画された路線であり、神奈川県にとっても、周辺道路の混雑解消や都市間の連携強化、産業の発展などが期待される重要な自動車専用道路であります。本町には2つのインターチェンジが設置されました。現在、本町では、さがみ縦貫道路が平成27年3月8日に全線開通したことにより、交通結節点の利便性を生かした新たな拠点づくりの形成に向け、周辺のまちづくり整備を進めています。



寒川町核兵器廃絶平和都市宣言

わが国は世界唯一の核被爆国であり、核兵器の廃絶と世界の恒久平和は、全国民共通の願いである。

しかしながら、地球上には多くの核兵器が貯えられ更に増強の傾向にある。

寒川町は、このような現状を踏まえ、国是である非核三原則の順守と、すべての核兵器の廃絶を強く訴え、恒久的な世界平和を願い、ここに核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和60年6月13日

健康都市宣言

健康は、生きがいのある充実した生活を送るうえで、最も重要で基本的な条件である。

高齢化社会の進展、生活様式の変化に伴い、豊かで住み良い生活環境の確保と健康づくりを積極的に進めていくことが重要である。

寒川町は、このような現状を踏まえ、町民一人ひとりが生涯を通じて健全な心と体を育てることにつとめ、明るく幸せな生活を送ることをねがい、ここに「健康都市」とすることを宣言する。

昭和62年9月28日

寒川町環境宣言

わたくしたちのまち寒川は、豊かな恵みをもたらす相模川とともに緑豊かなまちとして、発展をつづけてきました。

この豊かな自然の恵みを守り育て、よりよい環境を子や孫に引き継いでいくことは、今に生きるわたくしたちの責務であります。

今日、自然環境は、地球的規模で破壊が進み、わたくしたちの生活に深刻な影響を与えています。

わたくしたち寒川町民は、自らも自然の一員であることを自覚し、町、町民、事業者が一体となり、地球環境にやさしいまちづくりに取り組むことをここに宣言いたします。

平成5年3月26日

【 1 】 町 の 概 要

| | | | |
|------------------------------|------------|--------|-----|
| 町 制 施 行 年 月 日 | 昭和15年11月1日 | | |
| 人 口 (H27. 4. 1 現 在) | 48,209 人 | | |
| 男 | 24,465 人 | | |
| 女 | 23,744 人 | | |
| 世 帯 数 (H27. 4. 1 現 在) | 20,223 世帯 | | |
| 面 積 | 1,342 ha | | |
| 規 模 | ひろがり 東西 | 2.937 | k m |
| | 南北 | 5.480 | k m |
| 産 業 別 就 業 人 口 (平成22年国勢調査) | 第1次産業 | 483 | 人 |
| | 第2次産業 | 8,042 | 人 |
| | 第3次産業 | 13,787 | 人 |

【 2 】 町 の 職 員 数 (平成27年4月1日現在) 「単位：人」

| 部 局 名 | 定 数 | 現 員 数 |
|-------------------|----------------|--------------------|
| 1 町長の事務部局の職員 | 248 | 227 (再任用20人含まず) |
| 2 教育委員会 | 事務部局の職員 | 24 (再任用1人含まず) |
| | 学校、その他の教育機関の職員 | 47 (再任用2人含まず) |
| 3 選挙管理委員会の事務部局の職員 | 2 | 2 |
| 4 監査委員の事務部局の職員 | 3 | 2 |
| 5 農業委員会の事務部局の職員 | 2 | 2 |
| 6 消防機関の職員 | 58 | 53 |
| 7 議会の事務部局の職員 | 6 | 5 |
| 計 | 390 | 342 |

【3】町の財政状況

| | | | | | | | |
|-----|--------------|----------------------------------|-------|---------|------|----------|--------|
| 予 | 27年度 一般会計 | 予算額 | 137 億 | 4,600 万 | 0 千円 | (対前年度伸率 | 3.5%) |
| | | 歳入 町税 | 84 億 | 6,400 万 | 0 千円 | (構成比 | 61.6%) |
| | | 町債 | 3 億 | 7,110 万 | 0 千円 | (〃 | 2.7%) |
| | | 歳出 人件費 | 31 億 | 5,384 万 | 1 千円 | (〃 | 22.9%) |
| | | 物件費 | 24 億 | 7,975 万 | 7 千円 | (〃 | 18.0%) |
| | | 普通建設事業費 | 9 億 | 6,011 万 | 0 千円 | (〃 | 7.0%) |
| 算 | 27年度 特別会計 | 国民健康保険事業 | 65 億 | 8,309 万 | 6 千円 | (対前年度伸率 | 16.3%) |
| | | 後期高齢者医療事業 | 7 億 | 5,599 万 | 3 千円 | (〃 | 2.8%) |
| | | 介護保険事業 | 24 億 | 6,688 万 | 0 千円 | (〃 | 1.1%) |
| | | (仮称)健康福祉総合 センター用地取得事業 | | 7,832 万 | 6 千円 | (〃 | -) |
| | | 公営企業会計 下水道事業 | 22 億 | 8,558 万 | 3 千円 | (〃 | 皆増) |
| 総 計 | | 259 億 1,587 万 8 千円 (対前年度伸率 9.7%) | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|--------------|----------|--------------------------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 決 | 25年度 一般会計 | 歳入総額 | 142 億 | 1,400 万 | 9 千円 | (対前年度伸率 | 2.1%) | |
| | | 歳出総額 | 132 億 | 5,395 万 | 8 千円 | (対前年度伸率 | 1.5%) | |
| | | 実質収支額 | 8 億 | 4,399 万 | 2 千円 | (対前年度伸率 | 4.4%) | |
| 算 | 25年度 特別会計 | 国民健康保険事業 | | | | | | |
| | | 歳入総額 | 58 億 | 6,188 万 | 0 千円 | (対前年度伸率 | 2.1%) | |
| | | 歳出総額 | 56 億 | 2,207 万 | 5 千円 | (対前年度伸率 | 3.2%) | |
| | | | 実質収支額 | 2 億 | 3,980 万 | 5 千円 | (対前年度伸率 | △ 17.1%) |
| | | | 後期高齢者医療事業 | | | | | |
| | | | 歳入総額 | 6 億 | 7,243 万 | 2 千円 | (対前年度伸率 | 3.1%) |
| | | | 歳出総額 | 6 億 | 5,658 万 | 8 千円 | (対前年度伸率 | 3.1%) |
| | | | 実質収支額 | | 1,584 万 | 4 千円 | (対前年度伸率 | 2.9%) |
| | | | 下水道事業 | | | | | |
| | | | 歳入総額 | 14 億 | 8,579 万 | 4 千円 | (対前年度伸率 | △ 1.2%) |
| | | | 歳出総額 | 14 億 | 5,172 万 | 7 千円 | (対前年度伸率 | △ 2.4%) |
| | | | 実質収支額 | | 3,406 万 | 7 千円 | (対前年度伸率 | 169.1%) |
| | | | 介護保険事業 | | | | | |
| | | | 歳入総額 | 23 億 | 1,946 万 | 0 千円 | (対前年度伸率 | 2.7%) |
| | | | 歳出総額 | 21 億 | 6,221 万 | 3 千円 | (対前年度伸率 | 3.7%) |
| | | | 実質収支額 | 1 億 | 5,724 万 | 7 千円 | (対前年度伸率 | △ 9.5%) |
| | | | (仮称)健康福祉総合 センター用地取得事業 | | | | | |
| | | 歳入総額 | | 7,832 万 | 5 千円 | (対前年度伸率 | 0.0%) | |
| | | 歳出総額 | | 7,832 万 | 5 千円 | (対前年度伸率 | 0.0%) | |
| | | 実質収支額 | | | 0 千円 | (対前年度伸率 | -) | |
| 総 計 | | 歳入総額 | 246 億 3,190 万 0 千円 | | | | | |
| | | 歳出総額 | 232 億 2,488 万 6 千円 | | | | | |

【 4 】 指数等（ 2 5 年度決算数字）

| | | | |
|--------------------|-----------|---------------|----------|
| 財政力指数 | 0.996 | （ 前年度 | 1.009 ） |
| 経常収支比率 | 96.8% | （ 前年度 | 94.2% ） |
| 公債費比率 | 10.2% | （ 前年度 | 10.3% ） |
| 自主財源・依存財源割合 | | | |
| 自主財源 | 76.1% | （ 前年度 | 74.8% ） |
| 依存財源 | 23.9% | （ 前年度 | 25.2% ） |
| 健全化判断比率（ 2 5 年度比率） | | | |
| ①実質赤字比率 | — | （ 早期健全化基準 | 13.51% ） |
| | (△9.31%) | （ 財政再生基準 | 20.0% ） |
| ②連結実質赤字比率 | — | （ 早期健全化基準 | 18.51% ） |
| | (△14.24%) | （ 財政再生基準 | 30.0% ） |
| ③実質公債費比率 | 6.5% | （ 早期健全化基準 | 25.0% ） |
| | | （ 財政再生基準 | 35.0% ） |
| ④将来負担比率 | 38.4% | （ 早期健全化基準 | 350.0% ） |
| 資金不足比率 | — | （ 経営健全化基準 | 20.0% ） |
| （下水道特別会計） | (△4.9%) | | |
| ラスパイレス指数 | 99.6 | （ 平成26年4月1日現在 | ） |
| 高齢化率 | 24.45% | （ 平成27年4月1日現在 | ） |

【 5 】 土地利用の状況（平成 2 6 年 1 月 1 日現在）[単位：ha]

| 農 地 | | 宅地 | 山林・原野 | 雑種地 | その他 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田 | 畑 | | | | | |
| 92.6 | 201.2 | 501.7 | 14.0 | 132.5 | 400.0 | 1,342 |

市 街 化 区 域 698 ha (52.0%)

市 街 化 調 整 区 域 644 ha (48.0%)

平成27年4月1日現在

【6】議員定数

| | |
|------|-----|
| 条例定数 | 現員数 |
| 18人 | 17人 |

【7】年齢別・当選回数別

()内は女性[単位：人]

| | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 | 9回 | 10回 |
|------|----|-------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 80歳代 | | | | | | | | | | 1 |
| 70歳代 | | | 1 (1) | 1 | | | | | | |
| 60歳代 | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 50歳代 | 2 | 1 (1) | 1 | 1 | | | | | | |
| 40歳代 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| 30歳代 | 1 | | | | | | | | | |
| 20歳代 | 1 | | | | | | | | | |
| 計 | 6 | 2 (1) | 3 (1) | 3 | 1 | | 1 | | | 1 |

【8】党・会派別議員数

()内は女性[単位：人]

| 党派 会派 | 公明党 | 自由民主党 | 民主党 | 日本共産党 | 社民党 | 神奈川 みんなの 改革 | 無所属 | 計 |
|-----------|--------|-------|-----|-------|-------|-------------------|-----|--------|
| | フォーラム志 | | | | | 1 (1) | | 1 |
| 日本共産党 | | | | 3 | | | | 3 |
| 公明党 | 3 (1) | | | | | | | 3 (1) |
| 民社クラブ | | | | | | | 3 | 3 |
| 湘風クラブ | | 2 | | | | 1 | 2 | 5 |
| 会派に属さない議員 | | | | | | | 1 | 1 |
| 計 | 3 (1) | 2 | 0 | 3 | 1 (1) | 1 | 7 | 17 (2) |

【9】委員会及び各所掌事務

○常任委員会名称及び委員数

| 名 称 | 委 員 数 |
|-----------|-------|
| 総務常任委員会 | 9 人 |
| 文教福祉常任委員会 | 10 人 |
| 建設経済常任委員会 | 9 人 |

○常任委員会所掌事務

| 名 称 | 所 掌 事 務 |
|----------------------|--|
| 総 務 常 任 委 員 会 | 1 企画政策部、総務部及び町民部の所管に関する事項 2 会計課の所管に関する事項 3 消防本部、消防署、消防団の所管に関する事項 4 選挙管理委員会の所管に関する事項 5 監査委員の所管に関する事項 6 固定資産評価審査委員会の所管に関する事項 7 その他、他の常任委員会の所管に属さない事項 |
| 文 教 福 祉 常 任 委 員 会 | 1 福祉部及び健康子ども部の所管に関する事項 2 教育委員会の所管に関する事項 |
| 建 設 経 済 常 任 委 員 会 | 1 環境経済部、都市建設部及び拠点づくり部の所管に関する事項 2 農業委員会の所管に関する事項 |

○議会運営委員会委員数及び所掌事務

| | |
|---------|----|
| 議会運営委員会 | 6人 |
|---------|----|

| |
|--|
| 1 議会の運営に関する事項 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 3 議長の諮問に関する事項 |
|--|

○特別委員会名称及び委員数

| 名 称 | 委 員 数 |
|-----------------|-------|
| 寒川駅周辺整備対策特別委員会 | 7人 |
| 東海道新幹線新駅対策特別委員会 | 9人 |

○特別委員会所掌事務

| | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 寒川駅周辺整備対策特別委員会 | 寒川駅周辺整備計画の調査研究 |
| 東海道新幹線新駅対策特別委員会 | 東海道新幹線新駅周辺のまちづくり及びJR相模線の複線化に係わる調査研究 |

【10】任期

| | |
|--------|--------------|
| 議長・副議長 | 2年（申し合わせ） |
| 常任委員 | 2年（委員会条例） |
| 議会運営委員 | 2年（委員会条例） |
| 特別委員 | 原則的に委員会解散時まで |

【 1 1 】 報 酬 等

| | | |
|-----------------|------|---------------------------------------|
| 議 長 | (月額) | 442,000 円 |
| 副 議 長 | (月額) | 366,000 円 |
| 議 員 | (月額) | 339,000 円 |
| 町 長 | (月額) | 829,000 円 H27年6月期の期末手当 を20%引き下げ |
| 副 町 長 | (月額) | 673,000 円 H27年6月期の期末手当 を10%引き下げ |
| 教 育 長 | (月額) | 618,000 円 H27年6月期の期末手当 を10%引き下げ |
| 監 査 委 員 | (月額) | 143,300 円 |
| 議 会 選 出 監 査 委 員 | (月額) | 87,000 円 |

【 1 2 】 費 用 弁 償

| | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 本 会 議 | 委 員 会 | 視 察 |
| 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| (平成19年4月から廃止) | (平成19年4月から廃止) | (平成19年4月から廃止) |

【 1 3 】 視 察 旅 費 (平 成 2 7 年)

| | |
|-------------------|-----------|
| 常 任 委 員 会 | |
| 1 人 当 た り (年 額) | 100,000 円 |

【 1 4 】 政 務 活 動 費

| | |
|-------------------|-----------|
| 政 務 活 動 費 交 付 額 | |
| 1 人 当 た り (年 額) | 240,000 円 |

※収支報告書には、領収書を添付し提出

【15】議会運営

| | | |
|------|------------|---|
| 議案配布 | 議会招集日の3日前 | |
| 一般質問 | 通告書の受付及び期限 | 定例会会議初日の1日間 ※平成24年第2回定例会から通年議会を導入 |
| | 通告の内容 | 要旨を箇条書き |
| | 質問順位 | 通告順 |
| | 質問回数 | 制限していない |
| | 質問時間 | 30分 ※平成20年第1回定例会から実施 |
| | 質問者数 | 制限していない |
| | 日数 | 定例会会議の2日間 |
| 議案審査 | 人事案件 | 委員会付託を省略して、本会議で採決 |
| | 条例等一般議案 | 本会議で質疑後、所管の各常任委員会に付託 |
| | 予算・決算 | 補正予算は委員会付託を省略 当初予算・決算は本会議で質疑後、特別委員会を設置し、当該委員会に付託 |

【 1 6 】 定 例 月 会 議 開 催 状 況

[平成 26.1.1～12.31]

| | | 会 期 日 数 | | | |
|----------------------------|---------|--------------|----------------------|--------------------|------|
| | | 本 会 議 日 数 | 休 会 日 の 委 員 会 日 数 | そ の 他 の 休 会 日 数 | 計 |
| 第 1 回 定 例 会 | 1月会議 | 1 日 | — | — | 1 日 |
| | 3月会議 | 5 日 | 10 日 | 9 日 | 24 日 |
| | 6月会議 | 5 日 | 5 日 | 6 日 | 16 日 |
| | 6月第2回会議 | 1 日 | — | — | 1 日 |
| | 9月会議 | 5 日 | 10 日 | 11 日 | 26 日 |
| | 11月会議 | 1 日 | — | — | 1 日 |
| | 12月会議 | 5 日 | 5 日 | 8 日 | 18 日 |
| 年 間 計 | | 23 日 | 30 日 | 34 日 | 87 日 |

【 1 7 】 付 議 件 数

[平成 26.1.1～12.31]

| 区 分 | 提 出 者 別 ・ 種 類 別 | | | | | | | | | | |
|--------|-----------------|--------|--------|-----------------------|------------------|-----------------------|---------------------|--------|-------------|--------|-----------------------|
| | 町 長 提 出 | | | | | | 委 員 会 提 出 ・ 議 員 提 出 | | | | |
| | 条 例 | 予 算 | 決 算 | そ の 他 事 件 | 専 決 処 分 | 法 一 七 九 条 | 計 | 条 例 | 意 見 書 | 決 議 | 規 則 そ の 他 |
| 定例会 | 32 | 27 | 6 | 27 | 0 | 92 | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 |
| 臨時会 | — | — | — | — | — | 0 | — | — | — | — | 0 |
| 計 | 32 | 27 | 6 | 27 | 0 | 92 | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 |

【18】会議録・議会広報

| | | |
|------------------------|---------|--|
| 会 議 録 | 定例会・臨時会 | 全文記録し反訳を委託し、印刷は事務局で行う 平成19年から会議録検索システムを導入 |
| | 常任委員会 | 全文記録（反訳を委託） |
| | 特別委員会 | 全文記録（反訳を委託） |
| 議 会 広 報 (さむかわ議会だより) | 発行回数 | 年4回（昭和47年6月20日創刊） |
| | 編集体制 | 議員と事務局共同型 |
| | 発行経費 | 平成27年度 2,501千円（80,400部） |
| | 配布 | 全戸配布 |
| 議 会 放 映 | 本 会 議 | インターネットによる生中継及び録画中継 平成20年第3回定例会より導入 |

【19】議会費予算（平成27年度）

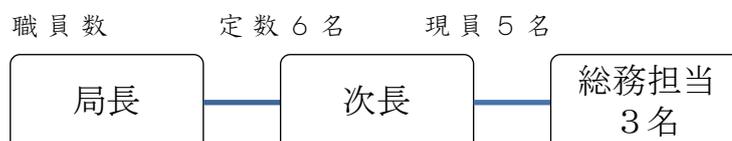
[単位：千円]

| 区分 | 報酬 | 給料 | 職員手当等 | 共済費 | 報償費 | 旅費 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-----|-------|
| 予算額 | 74,784 | 21,948 | 49,428 | 50,462 | 35 | 2,132 |

| 交際費 | 需用費 | 役務費 | 委託料 | 使用料及び 賃借料 | 負担金補助 及び交付金 |
|-----|-------|-----|-------|--------------|----------------|
| 600 | 3,844 | 150 | 6,572 | 1,666 | 5,778 |

| |
|---------|
| 議会費計 |
| 217,399 |

【20】議会事務局の組織・構成



| 平成25年度 決算状況 | | 人 口 | 22年国調 17年国調 増減率 | 47,672人 47,457人 0.5% | 区 分 | 住民基本台帳人口 | うち日本人 | 産 業 構 造 | | | 都道府県名 | 団体名 | 市町村類型 | V-2 |
|------------------|-------------|-------------|---------------------------------|---|-----------------------------|--------------|----------------|---------------------|-------------------|---|------------------------------|------|---------|-----|
| | | | | | 26.1.1 | 47,971人 | 47,376人 | 区 分 | 22年国調 | 17年国調 | 14 | 3219 | 地方交付税種地 | |
| | | | | | 25.3.31 | 47,945人 | 47,351人 | 第1次 | 483 | 547 | 神奈川県 | 寒川町 | | 2-6 |
| 面積 3,552人 | | | | | 増減率 | 0.1% | 0.1% | 第2次 | 8,042 | 9,100 | 平成25年度(千円) 平成24年度(千円) | | | |
| 歳入の状況(単位千円・%) | | | | | | | | 第3次 | 36.0 | 37.6 | 収入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 区 分 | 決 算 額 | 構 成 比 | 経 常 一 般 財 源 等 | 構 成 比 | 市町村税の状況(単位千円・%) | | | 指定団体等 の指定状況 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 地方譲与税 | 8,558,216 | 60.3 | 8,064,905 | 90.6 | 普通税 8,064,905 94.2 57,860 | | | 旧新産× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 地方譲与税 | 99,011 | 0.7 | 99,011 | 1.1 | 法定普通税 8,064,905 94.2 57,860 | | | 旧工特× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 利子割交付金 | 12,352 | 0.1 | 12,352 | 0.1 | 市町村民税 3,362,296 39.3 57,860 | | | 低開発× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 配当割交付金 | 27,415 | 0.2 | 27,415 | 0.3 | 個人均等割 69,963 0.8 - | | | 旧産炭× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 48,274 | 0.3 | 48,274 | 0.5 | 所得割 2,558,764 29.9 - | | | 山振× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 地方消費税交付金 | 475,099 | 3.3 | 475,099 | 5.3 | 法人均等割 151,292 1.8 - | | | 過疎× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| ゴルフ場利用税交付金 | - | - | - | - | 法人税割 582,277 6.8 57,860 | | | 首都○ | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 特別地方消費税交付金 | - | - | - | - | 固定資産税 4,244,373 49.6 - | | | 近畿○ | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 自動車取得税交付金 | 50,569 | 0.4 | 50,569 | 0.6 | うち純固定資産税 4,102,888 47.9 - | | | 中部× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 軽油引取税交付金 | - | - | - | - | 軽自動車税 65,554 0.8 - | | | 財政健全化等× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 地方交付税 | 90,755 | 0.6 | 37,860 | 0.4 | 特別たばこ税 392,682 4.6 - | | | 指数表選定○ | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 地方交付税 | 90,755 | 0.6 | 37,860 | 0.4 | 法定外普通税 - - - | | | 財源超過× | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 普通交付税 | 37,860 | 0.3 | 37,860 | 0.4 | 目的税 493,311 5.8 - | | | 一部事務組合加入の状況 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 特別交付税 | 52,867 | 0.4 | - | - | 法定目的税 493,311 5.8 - | | | 特別職等 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 震災復興特別交付税 | 28 | 0.0 | - | - | 入湯税 - - - | | | 定数 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| (一般財源計) | 9,411,316 | 66.3 | 8,865,110 | 99.6 | 事業所税 - - - | | | 適用開始年月日 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 交通安全対策特別交付金 | 9,219 | 0.1 | 9,219 | 0.1 | 都市計画税 493,311 5.8 - | | | 一人当たり平均給料(報酬)月額(千円) | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 分担金・負担金 | 265,414 | 1.9 | - | - | 水利地益税等 - - - | | | 市区町村長 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 使用料 | 149,452 | 1.1 | 22,148 | 0.2 | 法定外目的税 - - - | | | 副市区町村長 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 手数料 | 32,630 | 0.2 | - | - | 旧法による税 - - - | | | 教育長 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 国庫支出金 | 1,272,522 | 9.0 | - | - | 合計 8,558,216 100.0 57,860 | | | 議会議長 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 国庫支出金 | 1,272,522 | 9.0 | - | - | | | | 議会副議長 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 特別交付金 | - | - | - | - | | | | 議会議員 | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 都道府県支出金 | 669,328 | 4.7 | - | - | | | | その他○ | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 財産収入 | 23,603 | 0.2 | 5,044 | 0.1 | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 寄附収入 | 64,491 | 0.5 | - | - | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 繰越入金 | 384,927 | 2.7 | - | - | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 繰越入金 | 862,521 | 6.1 | - | - | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 諸収入 | 435,213 | 3.1 | 799 | 0.0 | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 地方債 | 607,981 | 4.3 | - | - | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| うち減取補償債(特例分) | - | - | - | - | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| うち臨時財政対策債 | 142,181 | 1.0 | - | - | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 歳入合計 | 14,188,617 | 100.0 | 8,902,320 | 100.0 | | | | | | | 歳入総額 14,188,617 13,895,232 | | | |
| 性質別歳出の状況(単位千円・%) | | | | | 目的別歳出の状況(単位千円・%) | | | | | | 基準財政収入額 6,823,769 6,427,101 | | | |
| 区 分 | 決 算 額 | 構 成 比 | 充 当 一 般 財 源 等 | 経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等 | 経 常 収 支 比 率 | 区 分 | 決 算 額(A) | 構 成 比 | (A)のうち 普通建設事業費 | (A)の 充 当 一 般 財 源 等 | 基準財政需要額 6,861,629 6,506,673 | | | |
| 人件費 | 2,951,546 | 22.3 | 2,803,777 | 2,803,501 | 31.0 | 議会費 | 195,282 | 1.5 | - | 195,234 | 標準財政収入額等 8,881,088 8,342,432 | | | |
| うち職員給料 | 2,023,851 | 15.3 | 1,893,828 | - | - | 総務費 | 2,341,730 | 17.7 | 4,316 | 2,163,010 | 標準財政規模 9,061,129 8,832,236 | | | |
| 扶助費 | 2,498,445 | 18.9 | 943,067 | 943,003 | 10.4 | 民生費 | 3,893,490 | 29.4 | 1,513 | 2,152,665 | 財政力指数 1.00 1.01 | | | |
| 扶債 | 1,478,658 | 11.2 | 1,478,658 | 1,478,658 | 16.3 | 衛生費 | 1,287,370 | 9.7 | - | 1,005,339 | 実質収支比率(%) 9.3 9.2 | | | |
| 元利子 | 1,287,800 | 9.7 | 1,287,800 | 1,287,800 | 14.2 | 労働費 | 61,567 | 0.5 | - | 7,967 | 公債費負担比率(%) 13.3 13.2 | | | |
| 元利子 | 190,808 | 1.4 | 190,808 | 190,808 | 2.1 | 農林水産業費 | 78,683 | 0.6 | 6,670 | 77,836 | 健全化判断比率 | | | |
| 一時借入金 | 50 | 0.0 | 50 | 50 | 0.0 | 商工費 | 104,958 | 0.8 | - | 65,975 | 実質赤字比率(%) - - | | | |
| (義務的経費計) | 6,928,649 | 52.4 | 5,225,502 | 5,225,162 | 57.8 | 土木費 | 1,611,832 | 12.2 | 522,016 | 1,226,389 | 連結実質赤字比率(%) - - | | | |
| 物件費 | 2,208,121 | 16.7 | 1,937,997 | 1,887,400 | 20.9 | 消防費 | 593,138 | 4.5 | 89,056 | 502,920 | 実質公債費比率(%) 6.5 7.0 | | | |
| 維持補修費 | 74,128 | 0.6 | 60,894 | 60,015 | 0.7 | 教育費 | 1,581,858 | 12.0 | 378,370 | 1,318,244 | 将来負担比率(%) 38.4 54.7 | | | |
| 補助費 | 586,450 | 4.4 | 509,279 | 493,270 | 5.5 | 災害復旧費 | - | - | - | - | 積立金 1,207,090 1,005,350 | | | |
| うち一部事務組合負担金 | 17,015 | 0.1 | 17,015 | 17,015 | 0.2 | 公債費 | 1,478,658 | 11.2 | - | 1,478,658 | 現在高 46,872 46,853 | | | |
| 繰出金 | 1,586,562 | 12.0 | 1,451,415 | 1,091,021 | 12.1 | 諸費 | - | - | - | - | 特定目的 771,156 603,127 | | | |
| 繰入金 | 754,715 | 5.7 | 691,001 | - | - | 歳出合計 | 13,228,566 | 100.0 | 1,001,941 | 10,194,237 | 地方債現在高 11,402,829 12,082,648 | | | |
| 投資・出資金・貸付金 | 88,000 | 0.7 | - | - | - | 経常経費充当一般財源等計 | 8,756,868 | 千円 | - | - | (債務負担行為) 1,284,663 1,482,163 | | | |
| 前年度繰上充用金 | - | - | - | - | - | 公営事業等への繰出 | 8,756,868 | 千円 | - | - | (支出予定額) - - | | | |
| 投資的経費 | 1,001,941 | 7.6 | 318,149 | 318,149 | 96.8% | 下水道 | 587,440 | - | - | - | (債務負担行為) 5,666,576 36,304 | | | |
| うち人件費 | 25,638 | 0.2 | 25,638 | - | - | 上下水道 | - | - | - | - | 取益事業収入 - - | | | |
| 普通建設事業費 | 1,001,941 | 7.6 | 318,149 | 318,149 | 98.4% | 工業用水道 | - | - | - | - | 土地開発基金現在高 583,274 583,243 | | | |
| うち補助 | 385,477 | 2.9 | 26,917 | 26,917 | - | 交通 | - | - | - | - | 合計 99.0 96.2 | | | |
| うち単独 | 611,114 | 4.6 | 285,882 | 285,882 | - | 国民健康保険 | 338,260 | - | - | - | 市町村民税 98.3 93.9 | | | |
| 災害復旧事業費 | - | - | - | - | - | その他 | 660,862 | - | - | - | 純固定資産税 99.4 97.6 | | | |
| 失業対策事業費 | - | - | - | - | - | | | | | | | | | |
| 歳出合計 | 13,228,566 | 100.0 | 10,194,237 | 11,139,750 | 千円 | | | | | | | | | |

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの特種事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの特種事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算入に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出した。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------------|-----------------|----|---|---|---|---|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 人口 | 47,945 | 人(H25.3.31現在) | 実収 | 赤 | 字 | 比 | 率 | - | % | | | | |
| うち日本人 | 47,351 | 人(H25.3.31現在) | 達 | 結 | 実 | 赤 | 字 | 比 | 率 | | | | |
| 面積 | 13.42 | km ² | 算 | 費 | 費 | 比 | 率 | 7.0 | % | | | | |
| 歳入総額 | 13,895,232 | 千円 | 得 | 来 | 負 | 担 | 比 | 率 | 54.7 | % | | | |
| 歳出総額 | 13,032,711 | 千円 | | | | | | | | | | | |
| 実収支 | 808,170 | 千円 | 市 | 町 | 村 | 類 | 型 | H20 | V-2 | H21 | V-2 | H22 | V-2 |
| 標準財政規模 | 8,832,236 | 千円 | (| 年 | 度 | 毎 |) | H23 | V-2 | H24 | V-2 | | |
| 地方債現在高 | 12,082,648 | 千円 | | | | | | | | | | | |



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

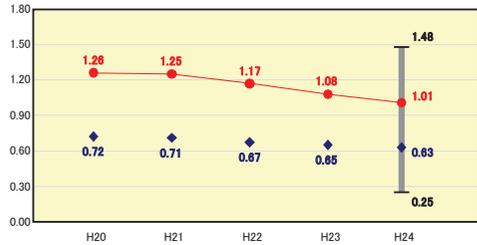
財政力

財政力指数 [1.01]

類似団体内順位 8/138 全国平均 0.49 神奈川県平均 0.92

財政力指数の分析欄

平成20年度秋の景気低迷後も経済情勢の回復が遅れ、個人所得及び法人収益が伸びず、それに伴い町税の減収が続いたことから財政力指数の減も続いた。
 平成24年度については、3か年平均では1.01であるが、単年度では0.99で昭和54年度以来33年ぶりに交付団体へと転じた。これは、基準財政収入額における東日本大震災等の影響により製造業を中心とした法人税割の減収、評価額に伴う固定資産税の減収と、基準財政需要額における高齢者人口の増(国勢調査人口の置き換え)による高齢者保健福祉費の増、障害者自立支援給付費の増などによる社会福祉費の増が原因である。
 財政力指数自体は類似団体を大きく上回っているものの、町税収入の大幅な回復は見込めないことから、今後も財源の確保は厳しい状況が続いているものと予想される。



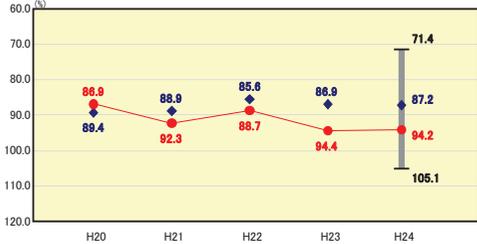
財政構造の弾力性

経常収支比率 [94.2%]

類似団体内順位 123/138 全国平均 90.7 神奈川県平均 95.5

経常収支比率の分析欄

平成21年度に町税の大幅な減収により初の90%台となったが、平成22年度においては経常経費の削減に努めるなど3.6ポイント改善し、80%台に回復した。
 平成23年度は扶助費、公債費の増により、経常経費充当一般財源等が大幅に増加し、再び90%台へと転じた。
 平成24年度は、広域リサイクルセンター稼働に伴う物件費の増があったものの、33年ぶりに交付団体となったことで普通交付税の増及び臨時財政対策債発行可能額の増があり、経常一般財源等は122,314千円(1.4%)の増となった。結果的には比率算定上の分母の増により、対前年度比0.2ポイント改善した。
 類似団体平均を上回る数値であるため、今後も事業の精査を行い、経常経費の圧縮に努めていく。



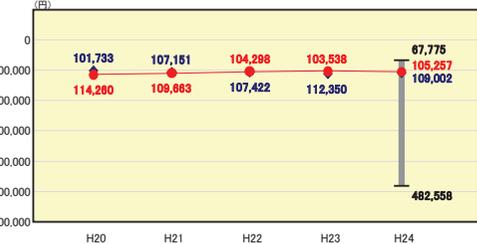
人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [105,257円]

類似団体内順位 70/138 全国平均 116,454 神奈川県平均 100,528

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

平成24年度は類似団体平均額を下回っているものの、人件費において退職者の増による退職手当組合負担金が増となったこと、広域リサイクルセンター稼働に伴う管理運営委託料の皆増による物件費の増があり、人口1人当たりの決算額は1,719円の増となった。
 今後については、町有施設の老朽化に伴う維持補修費の増加が予想され、類似団体平均額を上回ることが考えられるが、人件費、物件費も含め適正化を図っていく。



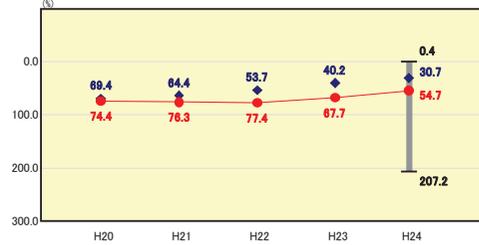
将来負担の状況

将来負担比率 [54.7%]

類似団体内順位 89/138 全国平均 60.0 神奈川県平均 120.5

将来負担比率の分析欄

平成22年度までは増加傾向にあり、70%台で推移してきたが、平成23年度より60%台となり、更に平成24年度は13ポイント減の54.7%となった。
 これは、過年度借入れの小学校建設事業債等の償還終了に伴う地方債現在高の減(▲369,542千円)、下水道事業債の償還が進み繰入見込額の減(▲356,376千円)などによる将来負担額の減(▲993,976)が大きく影響している。また、普通交付税交付団体となり標準財政規模が増となったこと(普通交付税及び臨時財政対策債の増)で比率算定上の分母が増となったことも挙げられる。
 比率は減少しているものの、類似団体平均値を上回っており、今後もプライマリーバランスが黒字範囲内においての借入れに止め、将来負担額のうち大きな割合を占める地方債現在高の縮減に努める。



公債費負担の状況

実収公債費比率 [7.0%]

類似団体内順位 40/138 全国平均 9.2 神奈川県平均 10.1

実収公債費比率の分析欄

平成24年度は、小学校建設事業債及び公園事業債の償還終了などにより地方債元利償還金が▲2,973千円、また、元利償還金から控除する特定財源が21,036千円の増となったことで、分子全体で▲17,981千円となった。
 一方、普通交付税交付団体となり普通交付税及び臨時財政対策債が増となったことで標準財政規模が増となり、分母全体で42,498千円の増となった。
 結果的に、分母側の増、分子側の減により、0.1ポイント減の7.0%となった。
 今後は、過年度に借り入れた臨時財政対策債、寒川駅北口地区土地区画整理事業債の元金償還開始に伴い、公債費は増加傾向の見込みである。



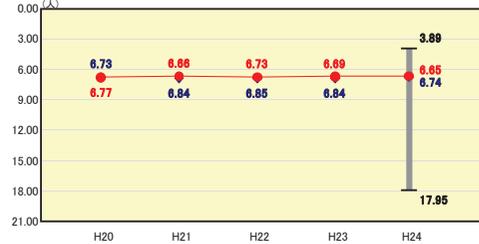
定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.65人]

類似団体内順位 71/138 全国平均 7.00 神奈川県平均 6.08

人口千人当たり職員数の分析欄

事務事業の見直しや効率化の徹底、柔軟な職員配置を行うとともに、勤奨退職や退職者不補充により定員管理の適正化を進めており、類似団体比較では僅かであるものの下回る結果となった。
 今後もより一層の定員管理に努める。



給与水準(国との比較)

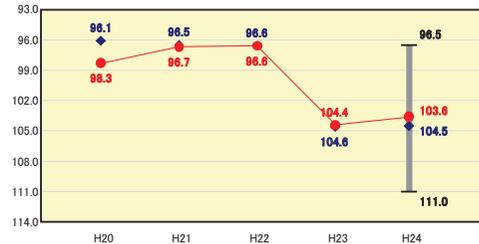
ラスパイルズ指数 [103.6]

類似団体内順位 48/138 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2

ラスパイルズ指数の分析欄

平成22年度までは類似団体と同率となっていたが、緊急財政対策による給与削減措置により、平成23年度から平均値を下回っている。
 今後も国等の状況を参考に給与を決定し、ラスパイルズ指数の適正化に努める。

* 東日本大震災の復興財源となるため、国は平均7.8%の給与減額を実施したことにより、平成23年度及び平成24年度は100を上回っている。



平成27年 寒川町議会要覧

発行日・・・平成27年4月

編集発行・・・寒川町議会事務局

〒253-0196

神奈川県高座郡寒川町宮山165

TEL 0467-74-1111

FAX 0467-74-1115

ホームページアドレス

<http://www.town.samukawa.kanagawa.jp>

メールアドレス

gikai@town.samukawa.kanagawa.jp